

沖縄語の学習のための漢字について(第3次案)(20枚)

2007年8月17日

沖縄語研究者 船津好明

本紙は、筆者が既に著した「沖縄語の学習のための漢字の使い方の例」(2007年3月28日付)の内容の一般化のため、既存の文献の中の書き方を調査した結果をまとめたものです。第2次案(2007年5月6日付)までの内容を含んでいます。

次頁の表の「該当漢字」は、沖縄語と共通語の両方に、音韻と意味の二つとも関係している漢字で、既にかかなりの文献で用いられています。沖縄語を沖縄語で思考したもので、規範性があります。共通語との音韻関係を重視するのは、既存知識を有効に活用するためです。沖縄語は共通語と深い関係がありますが共通語に従属するものではなく、独立した言語ですから沖縄語で思考するのは当然です。

表の「他の表記例」は、筆者が既存の文献の中で気に留め、適切でないと思って拾い出した書き方です。沖縄語を共通語で思考したもので、思考する人によって表現が変わります。規範性はありません。我々は共通語を知っているので、知らず知らずに共通語で思考しがちですが、それは本来ではありません。沖縄語を共通語で思考するのは副次的な意味しかなく、これが主流になるのは本末転倒です。そうなっては沖縄語の次世代への継承はなりません。

このような理由から筆者は、**沖縄語の学習においては「該当漢字」を適切とし、「他の表記例」は不適切と考えます。**

沖縄語を共通語で思考する場合のもう一つの弊害の典型

沖縄語の中に共通語の単語や言い回しを取り入れて、沖縄語として使うことが増えています。それ自体は悪いことではありません。悪いのは使い方です。例えば「はんたい」という共通語の言葉を沖縄語文の中で使うと、「はんたい」は沖縄語として扱われます

が、これを共通語で思考して、漢字で「<sup>はんたい</sup>逆」と書いている沖縄語の文献があります。

こういう書き方を子供に教えると、子供は沖縄語と共通語の分別がつかず、共通語において「逆」を「はんたい」と読む恐れがあり、学力低下の原因となります。これは明らかな弊害です。「はんたい」を沖縄語文の中で使うのが悪いのではなく、漢字の使い方が悪いのです。

「<sup>はんたい</sup>逆」ではなく「<sup>はんたい</sup>反対」とすべきです。似たようなことですが、

共通語と同じ音の沖縄語を「<sup>みち</sup>道路」、「<sup>はか</sup>墓地」、「<sup>うみ</sup>海岸」、「<sup>なぬか</sup>一週間」などと読み書きするのは、文学の世界は別として、はね返って共通語を誤る原因となり、学習には好ましくありません。

公刊書面では全ての漢字に必ず仮名を振ることとします。共通語で易しく読める字でも沖縄語でどう読むかは学習者には分からないからです。なお、漢字の使用は選択ですから、用いたくない場合は仮名のままでよいことは当然です。

「×他の表記例」は実際にあったものです。元来の沖縄語でないものも、沖縄語のような扱いで使われているのが実態のため、好ましくないものを取り上げました。左欄は同じ読み仮名です。「該当漢字」は筆者による代案で、これもかなり使われています。

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
あいよー	あ <sup>よー</sup> 有 <sup>い</sup> 様	あいよー 現 <sup>い</sup> 状
あかし	あ <sup>か</sup> 証 <sup>し</sup> 、あ <sup>かし</sup> 証 <sup>し</sup>	あ <sup>かし</sup> 証 <sup>し</sup> 拠
あがみゆん	あ <sup>が</sup> 崇 <sup>み</sup> ゆん	あ <sup>が</sup> <sup>み</sup> 尊 <sup>敬</sup> ゆん
あたいめー	あ <sup>た</sup> <sup>い</sup> 当 <sup>めー</sup> <sup>前</sup>	あ <sup>た</sup> <sup>い</sup> <sup>めー</sup> 当 <sup>然</sup>
あちねー	あ <sup>ち</sup> <sup>ねー</sup> 商 <sup>一</sup> 、あ <sup>ち</sup> <sup>ねー</sup> 商 <sup>一</sup>	あ <sup>ち</sup> <sup>ねー</sup> 貿 <sup>易</sup>
あちみゆん	あ <sup>ち</sup> 集 <sup>み</sup> ゆん	あ <sup>ち</sup> <sup>み</sup> 動 <sup>員</sup> ゆん
あとうあとう	あ <sup>と</sup> <sup>う</sup> <sup>あ</sup> <sup>と</sup> <sup>う</sup> 後 <sup>々</sup>	あ <sup>と</sup> <sup>う</sup> <sup>あ</sup> <sup>と</sup> <sup>う</sup> 後 <sup>世</sup>
あまはいくまはい	あ <sup>ま</sup> <sup>は</sup> <sup>い</sup> <sup>く</sup> <sup>ま</sup> <sup>は</sup> <sup>い</sup> あ <sup>ま</sup> 走 <sup>は</sup> い <sup>く</sup> ま <sup>は</sup> 走 <sup>い</sup>	あ <sup>ま</sup> <sup>は</sup> <sup>い</sup> <sup>く</sup> <sup>ま</sup> <sup>は</sup> <sup>い</sup> 東 <sup>西</sup> 奔 <sup>走</sup>
あみ	あ <sup>み</sup> 雨	あ <sup>み</sup> 梅 <sup>雨</sup>
あらわりゆん	あ <sup>ら</sup> <sup>わ</sup> 現 <sup>り</sup> ゆん	あ <sup>ら</sup> <sup>わ</sup> 出 <sup>現</sup> りゆん
あわていゆん	あ <sup>わ</sup> 慌 <sup>て</sup> いゆん	あ <sup>わ</sup> 急 <sup>て</sup> いゆん
あんだあぎー	あ <sup>ん</sup> <sup>だ</sup> <sup>あ</sup> <sup>ぎー</sup> 油 <sup>揚</sup> 、あ <sup>ん</sup> <sup>だ</sup> <sup>あ</sup> <sup>ぎー</sup> 油 <sup>揚</sup> 一	あ <sup>ん</sup> <sup>だ</sup> <sup>あ</sup> <sup>ぎー</sup> 揚 <sup>物</sup>
あんべー	あ <sup>ん</sup> <sup>べー</sup> 按 <sup>配</sup>	あ <sup>ん</sup> <sup>べー</sup> 氣 <sup>持</sup>
いーちき	い <sup>ー</sup> 言 <sup>ち</sup> 一 <sup>付</sup> き	い <sup>ー</sup> <sup>ち</sup> <sup>き</sup> 命 <sup>令</sup>
いくけーん	い <sup>く</sup> <sup>けー</sup> <sup>ん</sup> 幾 <sup>回</sup>	い <sup>く</sup> <sup>けー</sup> <sup>ん</sup> 何 <sup>度</sup>

言葉（音韻）	該当漢字	× 他の表記例
いくさ	いくさ 戦	いくさ、いくさ 戦争、大戦
いくさどーぐ	いくさどーぐ 戦 道具	いくさどーぐ 武 器
いぐますん	いぐ 意込ますん	いぐま 計 画 すん
いしがち	いしがち 石 垣	いしがち 城 壁
いちばん	いちばん 一 番	いちばん 最 高
いちむん	いちむん 一 門	いちむん 一 族
いちゃゆん	いちゃ 行会ゆん	いちゃ 面会ゆん、いちゃ 出会ゆん
いちゆい	いちゆい、いちゆい 勢 い、 勢	いちゆい 活 気
いっぺー	いっぺー 一 杯	いっぺー、いっぺー 大 層、大 変
いふー	いふー 異 風	いふー、いふー、いふー 異 様、妙、不 気味
いふー	いふー 異 風	いふー、いふー 変、奇 妙
いりむん	い むん 入 り 物	いりむん 容 器
いるわきてい	いるわ 色 分きてい	いるわき 独 特てい
ういぬくとーし	ういぬく 売 残 とーし	ういぬくとーし 在 庫
うーかじふち	うーかじふ 大 風 吹ち	うーかじふち 台 風
うーみじ	うーみじ 大 水	うーみじ 大 洪水
うーんかし	うーんかし 大 昔	うーんかし 古 代
うぐしく	うぐしく 御 城	うぐしく 首 里 城
うくねー	うくねー、うくねー 行 一、 行	うくねー、うくねー、うくねー 品 行、品 性、風 紀

言葉（音韻）	該当漢字	× 他の表記例
うくり	う 起くり	うくり 由来
をうさみかた	をうさ かた 治 み方	をうさみかた 政 治
をうさみゆん	をうさ 治 みゆん	をうさみ 支 配 ゆん
うししみ	うしし う 勸み	うししみ 奨 励
うた	うた うた 歌、唄	うた 歌詞
うたさんしん	うたさんしん 歌 三 線	うたさんしん 音 楽
うちなー	うちなー 沖 縄	うちなー うちなー 琉 球、沖 縄 県
うちゃぬぬみかた	ちや ぬ かた う 茶 ぬ 飲 み 方	うちゃぬぬみかた 御 喫 茶 法
うっさん	うっ 嬉 さん	うっさ うっさ 欣 喜 ん、歡 喜 ん
をうどうい	をうどう をうどうい 踊 い、踊	をうどうい 舞 踊
うとういむち	とう む う 取 い 持 ち	うとういむち 接 待
うとうすい	とうすい う 年 寄	うとうすい 古 老
うとうるさん	うとう 恐 る さん	うとうるさん うとうる 不 気 味、不 気 味 さん
うなさき	なさき う 情	うなさき 援 助
うにげー	にげー にげー う 願 ー、う 願	うにげー 依 存
うぬとうち	とうち う ぬ 時	うぬとうち 当 時
うぬふいー	ふいー う ぬ 日	うぬふいー 当 日
うはなし	はなし う 話	うはなし うはなし うはなし 記 事、講 演、話
うふいーち	うふいーち 大 息	うふいーち 溜 息

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
うぶく	うぶ 多く	うぶ 増く
うぶっちゆ	うぶっちゆ 大人	うぶっちゆ 成人
うほーく	うほーく 多く	うほーく、うほーく 沢山、大勢
うまーりゆん	うま 思ーりゆん	うまー 慕りゆん
うまんちゆ	うまんちゆ、うまんちゆ 御万人、御万衆	うまんちゆ、うまんちゆ、うまんちゆ 国民、大衆、市民
うみ	うみ 海	うみ 海岸
うみあっちゃー	うみあっ 海歩ちゃー	うみあっちゃー 漁師
うみーぬふか	うみーぬ <sup>ふか</sup> 思ーぬ外	うみーぬふか 案外
うみかきゆん	うみか 御目掛きゆん	うみかき 御覧ゆん
うみばた	うみばた 海端	うみばた 海岸
うむい	うむ 思い	うむい、うむ、うむい 自負心、念い、愛着
うむい	うむ 思い	うむい、うむい 期待、魅力
うむかじ	うむかじ 面影	うむかじ 気配
うむちすん	む う持ちすん	うむち 御持参すん
うむゆん	うむ 思ゆん	うむ 実感ゆん
うやどぅい	うやどぅい 親鳥	うやどぅい 成鳥
うやゆじりぬ	うやゆじ 親譲りぬ	うやゆじりぬ 伝統
うわたるあかし	う 終わたる <sup>あか</sup> 証し	うわたるあかし 終了証書
えーてい	えーてい 相手	えーてい 対象

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
おーってーん	おー 青 っ てーん	おー 緑 っ てーん
かかわい	かか 係 わい	かかわい 関 係
かしー	かしー 加 勢	かしー 応 援
かじふち	かじふ 風 吹ち	かじふち 暴 風
かたち	かたち 形	かたち 表 現
かち	かち 垣	かち 垣 根
かちとうみゆん	か とう 書 止 みゆん	かちとうみ 記 録 ゆん
がっていん	がっていん 合 点	がっていん がっていん 承 諾、了 承
かなさすん	かな 愛 さすん	かなさ 慕 すん
かみむん	かみむん か ー むん 食 物、食 み 物	かみむん かみむん 食 品、食 材
からたがんじゅー	からたがんじゅー 体 頑 丈	からたがんじゅー 身 体 健 康
かりーなむん	かりー むん 嘉 例 な 物	かりーなむん 縁 起 物
かんげー	かんげー 考 ー	かんげー かんげー かんげー 意 思、計 画、思 想
かんげー	かんげー 考 ー	かんげー かんげー 気 運、意 識
がんじゅー	がんじゅー 頑 丈	がんじゅー 元 氣
かななじ	かななじ 必 じ	かん 決 な じ
きーぬない	きー ぬない きー ぬない 木 ぬ 成、木 ぬ 成 い	きー ぬない 木 ぬ 実
きゅー	きゅー 旧	きゅー 旧 曆
くいゆん	くい 呉 ゆん	くい 与 ゆん

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
くーさん	くー 小さん	くーさ 幼ん
くえーゆん	くえー 肥ーゆん	くえー 太ゆん
くくりゆん	くくり 心得ゆん	くくり 注意ゆん
くくるあーち	くくるあー 心合ち	くくるあーち 一 致
ぐすーよー	ぐすーよー ぐすーよー 御衆様、御総様	ぐすーよー ぐすーよー 皆様、方々
くち	くち 口	くち 語
くとう	くとう 事	くとう、くとう 問題、事態
くとうば	くとうば 言葉	くとうば、くとうば 用語、方言
ぐとーん	ぐとー 如ーん	ぐとー 様ん
くにじゅー	くにじゅー 國中	くにじゅー 全 国
くにぶ	くにぶ 九年母	くにぶ 蜜柑
くぬたび	くぬ <sup>たび</sup> 度	くぬたび 今般
くび	くび 首	くび 襟元
ぐまさん	ぐま 細さん	ぐま 小さん
くらし	くらし 暮らし	くらし 生活
くりからあとう	くりから <sup>あとう</sup> 後	くりからあとう 将 来
くわ、つくわ	くわ、つくわ 子、子	つくわ 息子
くわーすん	くわ 食ーすん	くわー 釣 すん
くわっちー	くわっちー 活計	くわっちー 御馳走

言葉（音韻）

該当漢字

×他の表記例

ぐんぐわちぐにち	ぐんぐわちぐにち 五月五日	ぐんぐわちぐにち 端午節
くんくんしー	くんくんしー 工工四	くんくんしー 譜
くんち	くんち 根氣	くんち 元氣
くんどう	くんどう 今度	くんどう 今回
けーすん	けー 返すん	けー 返還すん
こーれー	こーれー 高麗	こーれー 朝鮮
さしわき	さしわき 差し分け	さしわき、さしわき、さしわき 区別、解決、詳細
さた	さた 沙汰	さた 評判
さちじゃち	さちじゃち 先々	さちじゃち 将来
さにじり	さにじり 種切	さにじり 絶滅
さわい	さわい 障い	さわい 悪影響
さんしん	さんしん 三線	さんしん 音楽
さんみん	さんみん 算明	さんみん、さんみん 勘定、計算
しー	しー 瀬	しー 岩
しーとう	しーとう 生徒	しーとう 児童
しーとうわらび	しーとうわらび 生徒童	しーとうわらび 児童生徒
しかた	しかた 仕方	しかた 方法
しかん	しかん 好かん	しかん 嫌かん
しきん	しきん 世間	しきん 社会



## 言葉（音韻）

## 該当漢字

## ×他の表記例

しきんばなし

しきんばなし  
世間話しきんばなし  
四方山話

しぐ

し  
直ぐしぐ  
早速

じく

じく  
軸じく  
中心

しくち

しくち  
仕事しくち  
作業

しけー

しけー  
世界しけー  
社会

ししょー

ししょー  
師匠ししょー  
講師

しち

しち  
節しち  
季節

しなさき

しなさき  
志情しなさき  
愛情

じぶん

じぶん  
時分じぶん、じぶん  
時期、頃

しま

しま  
島しま、しま、しま、しま  
部落、郷里、故里、村

しまじま

しまじま  
島々しまじま  
村々

しみ

しみ  
墨しみ  
学問

しみなれー

しみなれー  
墨習ーしみなれー  
学問

しむじむ

しむじむ  
下々しむじむ  
庶民

しむん

しむん  
済むんしむん  
良むん

じょーのー

じょーのー  
上納じょーのー  
税制

しらすん

しらすん  
知らすんしらすん  
紹介すん

しらんふーなー

しらんふーなー  
知らん風なーしらんふーなー  
知らん真似

じん

じん  
銭じん  
金

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
しんしー	しんしー 先生	しんしー しんしー 講師、教授
じんぬくばいかた	じん くば かた 銭ぬ配い方	じんぬくばいかた 予算案
じんみ	じんみ 吟味	じんみ じんみ じんみ 審議、協議、検討
じんみ	じんみ 吟味	じんみ じんみ 相談、議論
すーじ	すーじ すーじ 祝儀、祝事	すーじ すーじ 祝、祝宴
すーぶ	すーぶ 勝負	すーぶ 競技
すーゆびかた	すーゆ かた 総呼び方	すーゆびかた 総称
すくぶん	すくぶん 職分	すくぶん 本分
すぐりゆん	すぐ りゆん、すぐ 優りゆん、勝りゆん	すぐり 造詣ゆん
すだていゆん	すだ 育ていゆん	すだてい 養成ゆん
すりゆん	すり 揃ゆん	すり すり 集合ゆん、出席ゆん
そーゆん	そー 添ゆん	そー 連ゆん
たー	たー 誰	たー 何人
たーちぬていー	たー ていー 二ちぬ手	たーちぬていー 両手
たから	たから 宝	たから 遺産
たとうくる	たとうくる 二所	たとうくる たとうくる 両方、二人
だび	だび 荼毘	だび 葬式
たましぬぎゆん	たましぬ 魂脱ぎゆん	たましぬぎ 動転ゆん
だまゆん	だま 黙ゆん	だま 内緒ゆん

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
ぢー	ぢー 地	ぢー、ぢー 土地、大地
ちーく	ちーく 稽古	ちーく 練習
ちがゆん	ちが 違ゆん	ちが 異ゆん
ちからいってい	ちからい 力入ってい	ちからいってい 本格的
ちち・・	ち 着ち・・	ちち 到着・・
ちにふいーじーぬくとう	ちにふいーじーぬくとう 常平生ぬ事	ちにふいーじーぬくとう 日常茶飯事
ちばゆん	ちば 気張ゆん	ちば 頑張ゆん
ちむ	ちむ 肝	ちむ、ちむ、ちむ 心、精神、心算
ちむあーち	ちむあー 肝合ち	ちむあー 協力合ち
ちむいり	ちむいり 肝入	ちむいり 好意
ちむえー	ちむえー 肝合	ちむえー 意味
ちむぐりさん	ちむぐり 肝苦さん	ちむぐり 可哀相さん
ちむじゅらさん	ちむぢゅ 肝清らさん	ちむぢゅ 肝美らさん
ちむじゅりー	ちむじゅり 肝揃ー	ちむじゅりー 協力
ぢむとうぬしなむん	ぢむとうぬしなむん 地元ぬ品物	ぢむとうぬしなむん 地場製品
ちゃーぬみ	ちゃーぬ 茶飲み	ちゃーぬみ 喫茶
ちゃくし	ちゃくし 嫡子	ちゃくし 長男
ちやわんどーぐ	ちやわんどーぐ 茶碗道具	ちやわんどーぐ 食器
ちゅーじ	ちゅーじ 手水	ちゅーじ 便所

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
ちゅーみゆん	ちゅー 強 みゆん	ちゅーみ 強化ゆん
ちゅくい	ちゅく 作 い	ちゅくい 栽培
ちゅくゆん	ちゅく 作 ゆん	ちゅく 完成ゆん、作成ゆん
ちゅくゆん	ちゅく 作 ゆん	ちゅく 組織ゆん
ちゅぬちゃー	ちゅ ちゃー 人 ぬ 達	ちゅぬちゃー 人 々
ちゅらさん	ちゅ 清 らさん	ちゅ 美 らさん、綺麗さん
ちゅらくなすん	ちゅ 清 らくなすん	ちゅらく 修飾なすん
ちら	ちら 面	ちら 顔
ていーち	ていー 一 ち	ていーち 一件
ていーちなすん	ていー 一 ちなすん	ていーち 統一なすん
でいきやー	でいき 出来やー	でいきやー 秀才
ていだてい	ていだ 手立てい	ていだてい 方策
でー	でー 代	でー 値段
てーげー	てーげー 大概	てーげー てーげー てーげー 大抵、大体、大方
でーじ	でーじ 大事	でーじ 大変
てーしち	てーしち 大切	てーしち てーしち てーしち 重要、貴重、大事
とぅいりり	とぅ いり 取入り	とぅいりり 収穫
とぅいりりゆん	とぅ いり 取入りゆん	とぅいりり 導入りゆん
とぅいかき	とぅ か 問掛	とぅいかき 質問

言葉（音韻）	該当漢字	× 他の表記例
とういぐわ	とういぐわ 鳥小	とういぐわ 小鳥
とういたていゆん	とう た 取い立ていゆん	とういたてい 登用ゆん
どうー	どうー 胴	どうー、どうー、どうー 自分、個人、自身
どうーちゆい	どうーちゆい 胴一人	どうーちゆい 一人
どうーてー	どうーてー 胴体	どうーてー 身体
どうーぶに	どうーぶに 胴骨	どうーぶに 体骨
とうーゆん	とうー 問ゆん	とうー 尋ゆん
とうくる	とうくる 所	とうくる、とうくる 地域、場所
どうし	どうし 同士	どうし、どうし、どうし 友達、友、友人
とうすい	とうすい 年寄	とうすい、とうすい 老人、古老
とうゆん	とう 取ゆん	とう 拾ゆん
とー	とー 唐	とー 中国
とーふー	とーふー 唐風	とーふー 中国式
なー	なー 庭	なー 広場
ない	ない、ない 成、成い	ない 実
ないむん	ないむん、ないむん 成物、成い物	ないむん 巢物
なちかさん	なち 嘆かさん	なち 懐かさん、なちか 悲さん、なち 悲かさん
なぬか	なぬか 七日	なぬか 一週間
なゆん	な 成ゆん	なゆ 出来ん

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
ならーし	なら 習ーし	ならーし 指 導
ならーすん	なら 習ーすん	なら 教ーすん、ならー 指 導すん
ならゆん	なら 習 ゆん	なら 教 ゆん
ならん	な 成らん	なら 出来ん
なりゆち	な ゆち 成り行ち	なりゆち 理 由
にーしえー	にーしえー 二 才	にーしえー  にーしえー 青 年、若 者
にがゆん	にが 願 ゆん	にが 要請ゆん
にげー	にげー  にげー 願 ー、願	にげー  にげー 祈げー、申請
ぬーが	ぬーが 何 が	ぬーが 何故
ぬーし	ぬーし 主	ぬーし 店主
ぬじゆみ	ぬじゆ 望 み	ぬじゆみ 希 望
ぬすどう	ぬすどう 盗 人	ぬすどう 泥 棒
ぬちかじり	ぬちかじ 命 限り	ぬちかじり 一 生懸命
ぬむん	ぬ 飲むん	ぬ 喫むん
ぬらゆん	ぬら 呪 ゆん	ぬら 叱 ゆん、ぬら 怒 ゆん
のーじ	のーじ 苗 字	のーじ 名 前
ばー	ばー 場	ばー  ばー 際、時
ばーん	ばーん 番	ばーん 見張
はか	はか 墓	はか 墓 地

言葉（音韻）

該当漢字

×他の表記例

はじみゆん	はじ 始 みゆん	はじみ 開始ゆん
ばす	ばす 場所	ばす ばす ばす ばす 所、折、機会、際、
ばす	ばす 場所	ばす ばす ばす 場合、時、頃
はたらち	はたら 働 ち	はたらち 是たらち 活動、実行ち
はたらちゆん	はたら 働 ちゆん	はたら 活躍ちゆん
はっとう	はっとう 法 度	はっとう 禁 止
はなし	はなし 話	はなし 会 話
はねーかすん	はね 華 ーかすん	はねー 是ねー 盛会かすん、賑 かすん
はねーかすん	はね 華 ーかすん	はねー 大騒かすん
はま	はま 浜	はま 浜 辺
はんたい	はんたい 反 対	はんたい 逆
びんちよー	びんちよー 勉 強	びんちよー 学 習
ふいーじー	ふいーじー 平 生	ふいーじー 是いーじー 是いーじー 普 通、普 段、常 日 頃
ふいーじー	ふいーじー 平 生	ふいーじー 日 々
ふーじ	ふーじ 風 儀	ふーじ 風 習
ふいちゃーすん	ふいちゃー 引 合 すん	ふいちゃー 紹 介 すん
ふいちゃゆん	ふいちゃ 光 ゆん	ふいちゃ 輝 ゆん
ふいらゆん	ふいら 是いら 振 合 ゆん、触 合 ゆん	ふいら 交 際 ゆん
ふいる	ふいる 昼	ふいる 午 後

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
ふいるびるーとう	ふいるびる 広 々ーとう	ふいるびるー 広 大 とう
ふいるみゆん	ふいる 広 みゆん	ふいるみ 普 及 ゆん
ふいれー	ふいれー ぶいれー 触 合、 振 合	ふいれー ぶいれー ぶいれー ぶいれー 付 合、 関 係、 交 流、 交 誼
ふいんすー	ふいんすー 貧 相	ふいんすー 貧 乏
ふいんとー	ふいんとー 返 答	ふいんとー 回 答
ふえーばん	ふえーばん 麿 藩	ふえーばん 琉 球 処 分
ふし	ふし 節	ふし 曲
ふしじゆん	ふし 防 じ ゆん	ふし 防 除 じ ゆん
ぶひょーし	ぶひょーし 不 拍 子	ぶひょーし 生 憎
ぶりむん	ぶ むん ぶりむん 振 り 者、 振 者	ぶりむん ぶりむん 気 狂、 気 違
ふんとー	ふんとー 本 当	ふんとー 事 実
ぼーじ	ぼーじ 坊 主	ぼーじ 僧 侶
まーさん	まー 旨 さん	まー 美 味 さん
まがい	ま 曲 がい	まがい 曲 折
まさゆん	まさ 勝 ゆん	まさ 素 晴 ゆん
まじり	まじ 間 切り	まじり 町 村
みあてい	みあ 目 当 てい	みあてい 目 標
みーやー	みーやー 新 家	みーやー 新 居
みーふいちゃゆん	みーふいちゃ 目 光 ゆん	みーふい 睨 ちやゆん



言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
みぐゆん	みぐ 巡 ゆん	みぐゆ 回 転ん
みじらしい	みじら 珍 しい	みじらしー 不 思議
みち	みち みち 道、路	みち 道 路
みとうくる	みとうくる 三 所	みとうくる 三 人
みよーが	みよーが 真 加	みよーが 光 栄
むい	むい 盛	むい 丘
むちめー	むちめー めー むちめー 持 ち 前、持 前	むちめー 独 特
むっとうん	むっとう 尤 ん	むっとう 当 然ん
むぬ	むぬ 物	むぬ むぬ 食 事、食 物
むぬ	むぬ 物	むぬ 道 理
むぬ	むぬ 物	むぬ 言 葉
むぬかちゃー	むぬか 物 書 ちゃー	むぬかちゃー 作 家
むぬかでいあとう	むぬか あとう 物 食 で い 後	むぬかでいあとう 食 事 後
むぬかむん	むぬか むぬか 物 食 むん、物 嚙 むん	むぬか むぬか 食 事 むん、食 食 むん
むゆーすん	むゆー 催 すん	むゆー 開 催 すん
むら	むら 村	むら 字
むらむら	むらむら 村 々	むらむら 各 村
むらじゆくい	むらぢゆく 村 作 い	むらぢゆく 村 組 織
むる	むる 諸	むる むる 全 部、皆

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
むん	むん 者	むん 奴
むんならーし	むんなら 物 習ーし	むんならーし、むんならーし 教 育、教 訓
めーゆん	めー 燃 ゆん	めー 焼 ゆん
もーきゆん	もー 儲 きゆん	もー 稼 きゆん
もーゆん	もー 舞 ゆん	もー 踊 ゆん
やーうちー	やーうち、やーうちー 家 移ー、家 移	やーうちー 引 越
やーぢゆくい	やーぢゆく、やーぢゆく 屋 造い、家 作い	やーぢゆくい 建 設
やーにんじゆ	やーにんじゆ、やーにんじゆ 家 人 衆、家 人 数	やーにんじゆ 家 族
やーむっちょーるゐなく	やーむ 家 持 っ ち ょ ー る ゐ なく 女	やーむ っ ち ょ ー る ゐ なく 既 婚 女 性
やーむっちょーるゐなく	やーむ 家 持 っ ち ょ ー る ゐ なく 女	やーむ っ ち ょ ー る ゐ なく 主 婦
やーんぬーし	やー ぬーし 家 人 主	やーんぬーし 世 帯 主
やくす	やくす 役 所	やくす 部 局
やしち	やしち 屋 敷	やしち 敷 地
やちむんせーく	やち、むんせーく 焼 ち 物 細 工	やちむんせーく 陶 工
やっけー	やっけー 厄 介	やっけー 面 倒
やますん	や 病 ますん	やま 怪 我 ますん
やまとう	やまとう 大 和	やまとう、やまとう、やまとう 本 土、他 県、日 本
やまどうい	やまどうい 山 鳥	やまどうい 野 鳥
やまとうぐち	やまとうぐち 大 和 口	やまとうぐち、やまとうぐち 日 本 語、共 通 語

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
やまとうんちゆ	やまとう ちゆ 大 和 人 人	やまとうんちゆ 他 県 人
やみゆん	や 止みゆん	やみ 廃止ゆん
やむん	や 病むん	や 痛むん
やらすん	や 遣らすん	やら 派遣すん、 行 すん
やんめー	やんめー 病	やんめー 病 気
ゆー	ゆー 世	ゆー 社会
ゆーやをうさまゆん	ゆー をうさ 世 や 治 まゆん	ゆーやをうさ 治 安 良まゆん
ゆーやをうさまゆん	ゆー をうさ 世 や 治 まゆん	ゆーやをうさま 社会 安 寧ゆん
ゆーゆーとう	ゆーゆー 悠 々 とう	ゆーゆー 豊 々 とう
ゆくゆん	ゆく 憩 ゆん	ゆく 休 ゆん
ゆすぐに	ゆすぐに 余所国	ゆすぐに 海 外
ゆっかぬふいー	ゆっか ぬふいー 四 日 ぬ 日	ゆっかぬふいー 四 日 祭
ゆぶん	ゆ 呼ぶん	ゆ 召ぶん
ゆむん	ゆ 読むん	ゆ 数むん
ゆるし	ゆるし 許 し	ゆるし 許 可
よーし	よーし 様 子	よーし 状 況
わき	わき 訳	わき、 わき 理 由、 意 味
わじゃ	わじゃ、 わじゃ 技、 業	わじゃ、 わじゃ 芸、 技 術
わた	わた 腸	わた 腹

言葉（音韻）	該当漢字	×他の表記例
わったー	わ <sup>た</sup> っ <sup>た</sup> ー 我 <sup>達</sup> 、我 <sup>っ</sup> 達	わ <sup>た</sup> っ <sup>た</sup> ー、わ <sup>た</sup> っ <sup>た</sup> ー 私 <sup>共</sup> 、我 <sup>々</sup>
わらび	わ <sup>ら</sup> び 童	わ <sup>ら</sup> び、わ <sup>ら</sup> び 子 <sup>供</sup> 、生 <sup>徒</sup>
わらびぬくる	わ <sup>ら</sup> び、く <sup>る</sup> 童 <sup>ぬ</sup> 頃	わ <sup>ら</sup> びぬ <sup>く</sup> る 少 <sup>年</sup> 時 <sup>代</sup>
わん	わ <sup>ん</sup> 、わ <sup>ん</sup> 我 <sup>ん</sup> 、吾 <sup>ん</sup>	わ <sup>ん</sup> 私
ゐなく	ゐ <sup>な</sup> く、ゐ <sup>な</sup> く 女、女 <sup>子</sup>	ゐ <sup>な</sup> く 女 <sup>性</sup>
ゐなくうや	ゐ <sup>な</sup> く、う <sup>や</sup> 女 <sup>親</sup>	ゐ <sup>な</sup> く、う <sup>や</sup> 母 <sup>親</sup>
ゐなくんぐわ	ゐ <sup>な</sup> く、ぐ <sup>わ</sup> 、ゐ <sup>な</sup> く、ぐ <sup>わ</sup> 女 <sup>ん</sup> 子、女 <sup>子</sup> ん <sup>子</sup>	ゐ <sup>な</sup> く、ん <sup>ぐ</sup> わ、ゐ <sup>な</sup> く、ん <sup>ぐ</sup> わ 娘、娘 <sup>子</sup>
んかしくゆみ	ん <sup>か</sup> し <sup>く</sup> ゆ <sup>み</sup> 昔 <sup>暦</sup>	ん <sup>か</sup> し <sup>く</sup> ゆ <sup>み</sup> 旧 <sup>暦</sup>
んな	ん <sup>な</sup> 皆	ん <sup>な</sup> 、ん <sup>な</sup> 、ん <sup>な</sup> 一 <sup>同</sup> 、全 <sup>員</sup> 、諸

照会先：〒1870002 東京都小平市花小金井2 - 6 - 1  
船津好明

Tel/Fax 042-467-1273

Email funatsu@mvf.biglobe.ne.jp